

U-heart Vol.32

授業紹介 / ゼミ紹介

Uekusa Life/ 教授・講師陣紹介

学園だより / 学園ほっと NEWS



特集 01

2025 年 4 月看護学部 設置認可申請中

人々と共に創るこれからの看護

特集 02

植草学園の学びを知る

高大連携体験型授業

Pick up 

2025年4月看護学部開設!

人々と共に創るこれからの看護



2025 年 4 月の開設を目指し、設置認可申請中の看護学部についてご紹介します。

あなたの可能性をたしかな未来に

誰もがその人らしく、ともに歩んでいけるインクルーシブ社会。

植草学園大学が理念とするインクルーシブ社会の実現に貢献する、看護師・保健師を育成する看護学部が、2025 年 4 月スタートします。実践力・連携力・自己研鑽力を身につけ、自分の力が誰かの力になれることをめざす、看護学部の誕生です。千葉医療センターをはじめ、千葉東病院、下総精神医療センター、下志津病院の国立病院機構の各施設で実習を行うとともに、授業、研究、看護実践、就職など、多面的に相互協力関係を築きます。

看護を実践する力をつけます

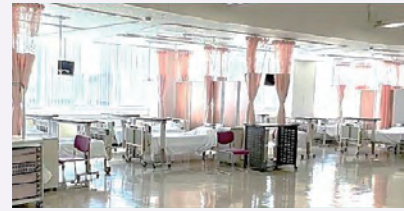
看護の対象の情報を収集・分析して看護計画を立てるプロセスや、対象ごとに必要とされる専門的な看護技術を学びます。
様々な施設で臨地実習を行い、看護を実践します。

看護の学びを統合し、より広い看護について学びます

これまでの学びから課題を見つけ、学びを深めます。各自が関心のある看護の領域を選択して実践する統合看護実習や、卒業研究にも取り組みます。
保健師資格取得希望者は、保健師関連の講義・演習・実習をプラスして履修します。

取得できる資格

看護師国家試験受験資格
保健師国家試験受験資格（選択制）



千葉医療センター敷地内にキャンパスを設置し、看護専門科目の授業を行い、病院実習の拠点とします。



地域共創ケアの演習・実習科目を通じて、地域で生活する人々とふれあい、看護に必要なとされる役割を考えることを学びます。地域共創ケアセンター（仮称）を開設し、学生も運営に関わることで、地域の人々や専門職者との活きたコミュニケーションや、課題に気づき対応する想像力・創造力を培います。

より深く、幅広く、看護の専門的な内容を学びます

専門基礎科目で、病気と治療、社会保障制度、医療情報など、看護に必要な知識を深めます。
専門科目では、看護の専門分野ごとの対象の特徴や、必要な看護の知識と考え方を学びます。

PICK UP
01

看護を
実践する
確かな
力を身
につける



高性能シミュレーターを用いた技術演習や、ロールプレイを含むシミュレーション演習、災害時の医療・看護を想定したトリアージ演習など、確かな実践力を身につけるカリキュラムで学びます。千葉医療センターをはじめとする国立病院機構の各病院や、千葉市・近隣市町の多くの医療・保健・福祉施設の協力を得て、充実した看護学実習を行います。

地域との繋がりを大切に する力を伸ばす

PICK UP
02

PICK UP
03

自分の
将来・
キャリアを
選ぶ
取る
力を
育てる



どんな看護師・保健師になりたいのか、そのためにどのような学びをするか、モチベーションを維持しながら、自分の可能性をたしかな未来に繋がられる環境が整っています。様々な看護職の実践や看護の発展を聴いて学ぶ機会、「看護の今、これから」を自分たちで調べたり話し合ったりする機会が多くあります。

4
年間の
学び

看護の基礎を学び、 専門職としての土台をつくります

教養教育科目で基礎学力を高め、幅広い教養を身につけます。専門基礎科目で、人間の身体、健康、家族など看護を学ぶ基礎となる知識や考え方を修得します。
専門科目では、看護とは何か、看護の視点で人間を理解すること、基本的な看護援助技術などを学びます。

高大連携体験型授業

UEKUSA TRIAL CLASS



高大連携校科目等履修生制度

2024 年度も実施します！

高大連携校科目等履修生制度（詳細は各連携校に通知しています）

小学校教諭や特別支援学校教諭、幼稚園教諭や保育士になること、または理学療法士や作業療法士になることを考え、本学に関心のある高大連携協定締結校の高校生が、早期に大学での学修に参加することを目的としています。所定の期間に、植草学園大学事務局学務課に出願してスタート。

出願期間：6月15日（土）～7月13日（土） 対象：高大連携校の2・3年生
担当講師：「心理学」足立英彦（発達教育学部 准教授）、「教育学入門」小野まどか（発達教育学部 講師）

CHECK POINT

高大連携型授業の魅力をお伝えします

リアルな授業体験

1コマ=90分間のオンライン授業です。最初のガイダンスと単位認定試験は対面で実施します。



スケジュール

- ・受講 7月20日（土）～8月10日（土）【オンデマンド】
- ・修了試験 8月17日（土）【対面】
- ・修了式 8月23日（金）【対面】
（※7月20日（土）は対面によるガイダンスを含みます）



入学後の修得単位に

発達教育学部・保健医療学部共通の教養教育基礎科目を履修するため、入学後に単位認定されます。



受講料の免除

履修による受講料（入学検定料、入学金、授業料）は免除されます。図書館なども利用できます。



2023 年に開催した
高大連携校科目等履修って
どんな授業だった？

「心理学」講義



発達教育学部 発達支援教育学科
発達教育心理コース

足立 英彦 准教授

大学の学びを体験できる 貴重な機会

高校生向けに内容をアレンジすることなく大学の授業をするというのは、初の試みでしたので、教える側にも不安がありました。大学生と同じかそれ以上に興味をもって意欲的に取り組んでもらうことができ、大変嬉しく思っています。高校生のみなさん、夏休みを活用して、心理学の授業を受講し、大学での学びを体験してみませんか。

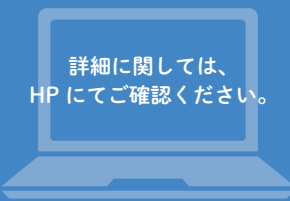
高大連携体験型授業を使用した
入学試験を実施します

高大連携授業体験型 選抜入学試験

対象

高大連携校科目等履修生制度に申し込み、
授業を受講し単位を修得した方

詳細に関しては、
HPにてご確認ください。



開講式

受講者の自己紹介や授業概要、受講方法の説明、生徒のみなさんの質疑応答などの時間を設けています。

授業

オンデマンドで受講して、課題を作成・提出します。大学生と同じことを体験し、ワクワク、ドキドキしながらも、全員が無事に全日程を終了しました。



修了試験

受講修了後、選択問題を中心とする筆記試験を対面で受検します。15回の授業の中で、毎回課題が出ていますので復習をしっかりやっていたら安心です。

修了式

修了証書と成績証明書を学長より授与します。受講したみなさん全員が立派に単位を修得しました！



2023 年の高大連携体験型授業に
参加した生徒（14 名）の入学率

100%



Physical Therapy

ゼミ紹介
保健医療学部
リハビリテーション学科

理学療法学専攻



松岡瑞雄 講師

日常の素朴な疑問を
明らかにする

松岡ゼミでは特定の領域に限らず、学生が明らかにしてみたいと思うテーマについて研究ができるよう支援しています。例えば、「椅子の座り方が楽器演奏に及ぼす影響」を調べてみたり、「午睡（お昼寝です）が午後の授業の集中力、眠気などのような効果をもたらすか」を明らかにしたり、大学を飛び出して学生の母校を訪れ、「足の上げ方でスイングスピードは上がるのか」や、地元の中学校にご協力いただき「中学生が有する生活習慣病リスク因子」を調査したこともあります。研究は、難しくもありますが自由で楽しいものです。日常生活や授業の中で生じた「？」を、少しでも「！」にしてみませんか？

4年 羽賀水樹
千葉県立千葉西高等学校 出身

学生の知りたいことと
とことん協力してくれる

高校生の時に吹奏楽部に所属していたこともあり、卒業研究では音楽に関わる研究がしたいと思えました。そして「椅子への座り方が楽器演奏に及ぼす影響」について調べることにしました。最初は大学内で協力を募り身近な楽器で演奏してもらうことを計画しましたが、松岡先生の「せっかくだから、現役の演奏者にやってもらおう！」という一言から、母校の吹奏楽部に協力していただくことになりました。母校に依頼することなど思いつきもしなかったのでもとても驚きました。学生の知りたいことととことん協力してくれる、そんなゼミだと感じています。勉強のことも相談しやすいとても親しみやすい先生です！

授業紹介
保健医療学部
リハビリテーション学科
作業療法学専攻



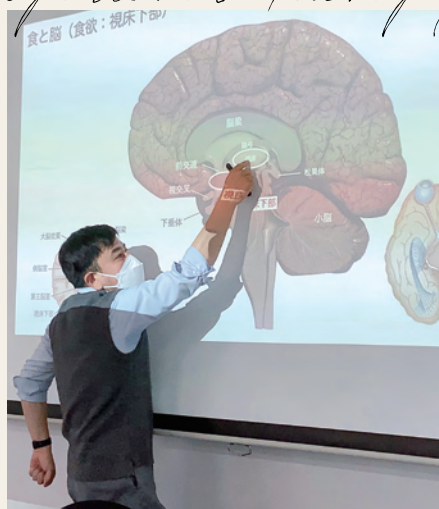
百田貴洋 教授



どの子も惹きつけ
『包み込む』保育

この授業では、保育実習、教育実習、そして卒業後に向けて、多くの手遊びや紙皿クイズなどのミニネタを修得できます。障害の基本的理解を深めた上で、インクルーシブな保育・教育の具体的な方法である「逆転の発想」を学び、障害のある子どもも惹きつける保育について考えていきます。また、どの子も惹きつけ包み込む保育教材の製作・練習を徹底して行います。『手遊びチャレンジ』のコーナーでは、友だちと手遊びを演じる練習を何度もします。私がおかげで、手遊びの場面ではあまり緊張せず、子どもたちと楽しむことができました。授業で学んだことを生かして、子どもたち一人ひとりの味方になれる教員を目指します！

Occupational Therapy



摂食嚥下の作業療法

「食」は単なるエネルギー補充ではありません。もしそうであるならば、点滴や栄養食品として商品化されたものだけを食べる方が、よほど効率よく思えます。しかし、食は我々にとって「楽しみ」でもあり、「家族団らん」「会食」の言葉が示すようにコミュニケーションの場でもあります。「食べること」の障害は、そういった楽しみやコミュニケーションの場を制限することにも繋がってしまうのです。逆に「どうやって食べるのか？誰と食べるのか？」がエネルギーの補充（消化・吸収・代謝）に影響することも報告されています。なぜ脳は空腹を感じなのか？なぜ美味しいと感じるのか？「飲み込み」の機能はどうなっているのか？リハビリで回復されることはできるのか？本講義では、古来の「人と食の関係」から最新の「電気刺激装置を使った嚥下リハビリテーション」まで講義と実技を踏まえ、学びます。



授業 / ゼミ紹介

授業紹介
植草学園短期大学
こども未来学科



The future of Children



佐藤慎二 教授

『見方』を変えて
『味方』になる！

21年前、小学校に勤務していたときに、じっと座っていることが難しい1年生に「どうして座っていないの？」と聞いたことがあります。「本当は座りたい！」との答えに衝撃を受けました。じっと座りたいけどできない！だから、「多動性」なのだ。植草学園短期大学に着任して20年間、学生のみなさんには「気になる」子どもと出会ったら、『困った』子どもではなく何かに『困っている』子どもなのだ！『見方』を変えて『味方』になって！そして、「じっとしている姿をまらず応援することができる『逆転の発想』の支援を大切に！」と伝えてきました。このような「子ども観」「支援観」は、「気になる」「子どもには「ない」と困る」のです。同時にどの子どもにも「あるとやさしい」のです。これがどの子どもにも包み込む「インクルーシブ保育・教育」の思想です。



植草学園短期大学卒業
植草学園大学 科目等履修生
北村桜

千葉県立成田国際高等学校 出身 U-heart 05

UEKUSA LIFE

Interview 01

仲間と支え合いながら、過ごしています！

保育士になるという小さい頃からの夢を実現するために、保育を学んでいます。保育園の年長の時の担任の先生が誰にでもやさしく、そのような先生になりたいと思い、保育士を目指しました。

高校の時に植草学園の先生の話聞き、誰でも包み込むというインクルーシブという考え方に魅力を感じました。実際短大で授業を受けてみて、子ども側に立つ新たな視点を学ぶ中で、保育への興味関心がとても広がり、それが将来を考えることに繋がっています。

入学当初に一番不安だったピアノは、先生の優しい指導のもと、友だちと協力しながら学ぶことができたので、楽譜すら読めなかった自分でも、楽譜を読んで弾くことができるようになりました。

これから続く実習では不安が大きいです、先生や友だちに支えられながら、取り組むことができています。卒業に向けて、仲間と支え合いながら、小さい頃からの夢を実現していきます。

植草学園短期大学
こども未来学科 2年 傳法春海（写真右）
千葉県立若松高等学校 出身



海外ボランティアでの貴重な体験！

2・3年生の春・夏休みを利用してカンボジアとフィリピンのセブ島での海外ボランティアに3回参加しました。最初は一人での渡航は不安でしたが少しの勇気をもって一歩踏み出すと貴重な経験と最高の仲間に出会う事ができました！

現地を訪れると様々な事を考えさせられます。例えば幸せのあり方。私は「途上国」と聞くと貧しい、可哀そうというイメージがありました。しかし現地の人たちは明るく、町は活気に溢れ、大勢の家族と楽しそうに暮らしている様子が印象的でした。彼らを見て幸せの価値観が変わりました。

幸せに見える裏側には問題も多くあります。悲しい歴史の名残や、ごみ問題、貧困問題などです。ゴミの中から売れる物を探す人々や物乞いをしてくる子どもたちに会い、私たちができる事は何だろうと夜な夜な仲間たちと語り合ったりもしました。

刺激的な毎日と、価値観が壊れていく感覚は特別で、この経験を生かして成長していきたいです！

植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科
作業療法学専攻 4年 潮いつき
群馬県立高崎商業高等学校 出身

Interview 02



発達教育学部

発達支援教育学科

畑山未央 助教



子どものために思い、行動し、学び合える 教員や保育者を目指せる場所

教育とは「教える」と書く通り、教えるだけの営みではありません。子どもたちが自分らしく生きていくために、個々のよさや違いを認めながら、育てていく考え方こそ大切です。発達教育学部では、講義で身につけた教育の考え方を教育現場で生かせるよう、実習などを通して子どもたちとふれあい、実践的に学んでいくことを重視しています。また、本学はやさしい学生が多く、困っている人に気付き、支え、感謝できる姿にたくさん出会うのですが、そこにはみんなで支え合うインクルーシブの理念が通底していることも実感します。私自身は定期的に子どもたちと造形活動をするのですが、身近な環境や親しみのある素材に関わって遊びながら、子どもたちが発揮する発想力やつくりだす力にいつも驚きと刺激をもらっています。そして、「次はこうするともっと楽しめそうだな」、「こういう声をかければよかったな」と考え、反省し、次への意欲をもつことにも繋がっています。そのように考えると、ときに私も子どもたちや学生たちから「教わり育つ」存在なのだと思います。子どもたちと共に学び合う、そんな先生になる夢を、植草学園で叶えてみませんか？ みなさんが安心して学び、活躍できるよう、教育現場への道を開いてお待ちしております。

教授・講師陣紹介



保健医療学部

リハビリテーション学科

中嶋康之 助手

スポーツ障害に寄り添い 誰もがスポーツを楽しめるように！

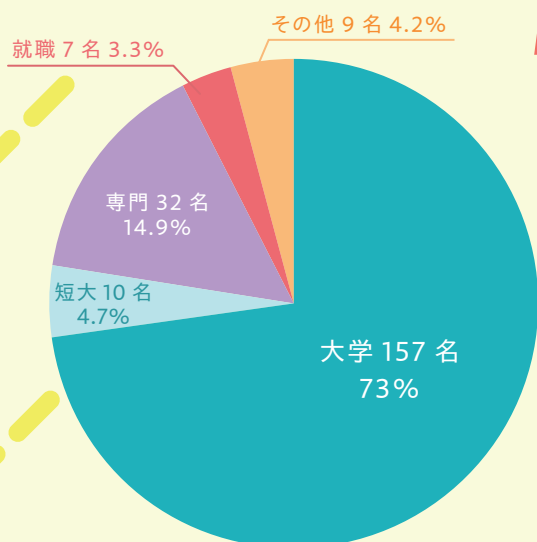
理学療法士が働く場をみなさんは知っていますか。入院施設がある病院や、通院してリハビリを行うクリニックが主に思い浮かぶと思います。しかし現在の理学療法士はスポーツ現場や教育現場、介護領域など活躍できる場がどんどん広がっている職種です。私は以前、整形外科クリニックに勤めており、未就学児から超高齢者と言われる方まで幅広い年齢層の患者様の治療に携わってきました。その傍らで、大学野球トレーナーの方と一緒に、スポーツ現場に足を運び、スポーツ障害の治療・予防にも力を入れてきました。病院やクリニックとは違う環境での仕事は、考え方も異なりとても楽しかったことを覚えています。現在は助手として授業補助を行いながら、スポーツ障害を中心に研究を進めています。誰もが楽しくスポーツに取り組み、少しでもスポーツ障害で悩む子どもたちや選手を減らしていきたいと思っています。植草学園大学は幅広く勉強できる環境が整っており、将来に色々な思いをもっている学生が多くいます。スポーツに興味がある方だけでなく、「理学療法士の魅力を充分に知りたい！！」と思う方はぜひ一緒に植草学園で学びましょう。

令和5年度 進路状況 (2024年3月31日現在)

Academic Achievements

植草学園大学への進学 **25名**

附属高校として植草学園大学へ25名の生徒が進学しました。
また、千葉大学、横浜市立大学、千葉県立保健医療大学、鳥取大学等の国立大学や慶應義塾大学、法政大学、成城大学、日本大学、東洋大学、専修大学、東邦大学(薬)、順天堂大学(薬)等の合格者も出すことができました。



部活動実績

Club Activity Results

■ ソフトテニス部

- ・関東高等学校選抜ソフトテニスインドア大会 団体戦 ベスト8
- ・関東高等学校ソフトテニス団体選手権大会 ベスト8
- ・全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会 個人戦 ベスト16
- ・天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会出場
- ・ハイスchoolジャパンカップ 出場
- ・国民体育大会関東ブロック大会ソフトテニス競技会千葉県少年女子出場
- ・関東高等学校ソフトテニス選手権大会 個人戦 ベスト8
- ・関東ソフトテニス選手権大会 ベスト8
- ・関東シングルス選手権大会 ベスト16
- ・全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会個人戦 出場
- ・東日本ソフトテニス選手権大会 出場

■ バドミントン部

- ・令和5年度関東高等学校バドミントン大会千葉県選抜第7地区予選会団体 第六位
- ・令和5年度千葉県高等学校総合体育大会バドミントン 競技第7地区予選会ダブルスベスト8
- ・令和5年度千葉県高等学校1・2年生バドミントン大会第7地区予選会 ベスト8
- ・令和5年度千葉県高等学校新人バドミントン大会第7地区予選会団体出場

■ 吹奏楽部

- ・第65回千葉県吹奏楽コンクール高校8部門銀賞
- ・第52回マーチングバンド千葉県大会 金賞
- ・第58回マーチングバンド関東大会 銅賞
- ・第22回マーチングステージ全国大会優秀賞

■ 書道同好会

- ・第72回千葉県小・中・高校席書大会特選2名・金賞3名
- ・第47回全国書画展覧会ふれあい書道展奨励賞6名
- ・第76回千葉県小中高校書き初め展覧会書星会賞3名・特選4名

■ フラダンス同好会

- ・第11回フラガールズ甲子園新人賞・いわきライキ賞

■ 卓球同好会

- ・令和5年度千葉県高等学校新人体育大会卓球大会 出場
- ・第35回千葉県私立中学高等学校卓球大会出場
- ・令和5年度千葉県高等学校新人体育大会卓球大会第7地区予選会 団体戦第3位
- ・個人戦(ダブルス) ベスト8
- ・個人戦(シングルス) ベスト16

■ バトントワリング部

- ・ダンスドリル選手権関東大会Drill Pom 部門 Large 編成 第3位
- ・ダンスドリル選手権全国大会Drill Pom 部門 Large 編成 第5位
- ・Pom 部門 Large 編成 出場
- ・Japan Cup マーチングバンド・ボンボン・バトントワリング選手権 第2位
- ・Japan Cup 日本選手権 優勝
- ・USA リージョナルズ東京大会Song/Pom 部門 Medium 編成 第3位
- ・USA ナショナルズ全国選手権大会Song/Pom 部門 Medium 編成 出場

■ バスケットボール部

- ・令和5年度総合体育大会バスケットボール選手権大会千葉県第7地区予選会 出場

■ バレーボール部

- ・令和5年度関東高等学校女子バレーボール大会 出場
- ・第76回千葉県高等学校総合体育大会バレーボール競技大会 第3位
- ・令和5年度千葉県私立高等学校男女バレーボール大会 優勝
- ・令和5年度全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会 千葉県予選会 優勝
- ・令和5年度第29回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会(さくら大会) 出場



植草学園大学

附属高等学校

附属施設の日常を紹介!

「修学旅行へ行ってきました!」

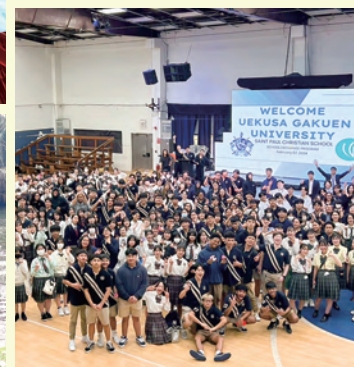
SCHEDULE

2月6日(火)
AM: 成田空港発
PM: グアム到着

2月7日(水)
AM: 現地校交流
PM: アドベンチャー
ボートクルーズ

2月8日(木)
クラス別コース

2月9日(金)
AM: 班別行動
PM: 成田空港着



初日はグアムに到着後、ドキドキの入国審査を突破しKマートで買い物を楽しみました。宿泊先のグアムプラザホテルに到着後、ホテルのバイキングでグアムの伝統料理やフルーツを美味しく頂きました。

2日目は今回の修学旅行のメインである現地校との交流日です。ホテルのバイキングでお腹を満たし、現地校であるセントポールクリスチャンアカデミーに出发。班ごとに英語で自己紹介をした後、歓迎のセレモニーが行われました。校内を案内してもらいながらアイスを食べるなどして過ごし、体育館に集合した後はバレーボールでの交流やフラダンス部・バトントワリング部によるステージ、現地校のダンス発表。班ごとで折り紙などを楽しんだ後にみなでお弁当を食べ、終了のセレモニーが行われました。午後はアドベンチャーボートクルーズで、バレーオブザラッテパークにてチャモロ文化を体験。チャモロ族のダンスや歴史・自然にふれることができました。夕食はチャモロビレッジに移動し、屋台にてそれぞれ好きな物を買ってご飯をいただきました。

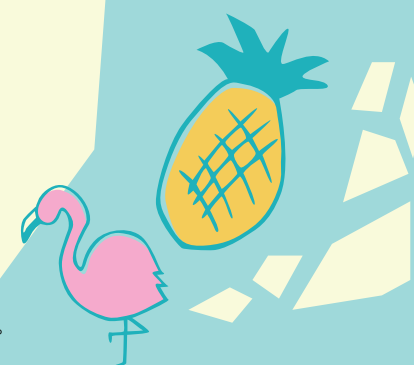
3日目はクラスごとに決めたコースで1日を過ごしました。ソレダット砦やアサン展望台でグアムの自然を満喫するクラスもあれば、水族館に行きバックヤードを見学するクラス、ビーチで泳ぐクラスやプレミアムアウトレットで買い物を楽しむクラス、クルーズ船に乗ってイルカウォッチングをするクラスなど様々でした。夕食はホテル近くのタモンビーチ横のレストラン「セイルズ」にて全員でBBQを楽しみました。食べきれないくらいのお肉をみなで食べました。

最終日はタモン地区にて班別行動。ショッピングセンターでお土産を購入する班やパンケーキやハンバーガーを食べ歩きする班など様々でした。その後、バスでグアム国際空港に向かい、成田空港に無事到着しました。初めて海外に行く生徒も多くドキドキでしたが、楽しく異文化にふれられた3泊4日の修学旅行となりました。

修学旅行後、各クラスのLHRで修学旅行の振り返りを行い、校中の空中通路にまとめを掲示しました。

UEKUSA SCHOOL NEWS

学園だより





保育園は、保護者との情報交換を送迎時の対話や連絡帳、面談等で行っています。保護者の不安や悩みに寄り添えるように、子育てが楽しいと感ずることができるよう、保護者の方とコミュニケーションを図っています。また保育を理解していただくための取り組みとして、遊びや生活を数枚の写真と共に保育のあり様のコメントを加え壁新聞を掲示してきました。みな楽しみにしており、且つ、遊びを楽しんでいる写真に安心感をもっていただき担任との会話のきっかけになっています。

その他に保育士体験への参加も情報共有の有効な場となっています。クラスに入っただき、保育士として子どもの生活の援助をしたり一緒に遊びを楽しんだりして、午前中一緒に過ごしています。子ども達のパワーを感じたり時には喧嘩の場面に遭遇しやきもしたり…。また保育士が仲裁しているやり取りやイヤイヤ期の接し方を側で見て「なるほど」と感心していただくこともあります。子どもは家庭と園生活の中で育っています。

子どもの様子を園と家庭で共有し、子どもの今をしっかりと見つめて保護者の方との信頼関係・相互理解の中で子育て支援をしていけるよう努力を続けていきたいと思っています。

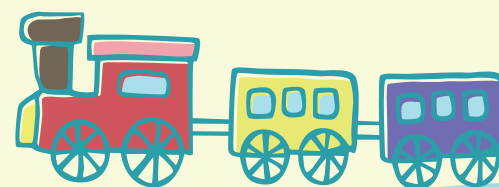


このはの家にはいろいろな種類の『手作り玩具』があります。それは、作り物が得意な保育士が日々の保育の中で、子どもたちの移り行く興味を見極めながら「最近、上着のファスナーに挑戦する姿があるから、遊びの中でも何かできるものがあればいいのに…」など、自身の気づきや他の保育士の願いを聞くことから始まります。いろいろな材料を集めて数日後には「リクエストに応えて作ってみました。子どもたちと遊んでみてください。」と試作品を提案します。早速子どもたちに披露すると興味深く夢中になって長時間遊ぶ時もあれば、保育士間で意見交換をしながら、より子どもたちが遊びやすいように工夫を重ねていく時もあります。もちろん手作りなので、耐久性や安全性などにも十分注意を払います。また、見立て遊びが広がるように、あえてシンプルに作ることもあります。こうした思いが子どもたちにも届き、想像力豊かに、時には大人が考えもしなかった遊びの発想に「子どもってすごいね。」と感心することも多く、大人の学びにも繋がります。このはの家の基本方針の一つに『生活のなかで、様々な体験を通して発達や想像力を養う』とあります。手作り玩具にも期待を乗せて、子どもの『今育ちつつある力』が十分発揮されるよう見守り支えていきたいと思っています。



行事を見直す

コロナ禍では感染予防対策とともに、時には中止など様々な判断をしながら園の行事を行ってきました。コロナが明けた現在は、改めて日常の生活や保育の方法を見直す中で、各行事のねらいや経験、活動方法などが『子どもにとって』どうなのか？という視点で捉え、計画・実施をしています。昨年の運動会は、3・4・5歳児が一同に会することで待ち時間が長くなる、大勢の前で本来の力を発揮できない子が出てくる、自分の家の人がすぐに見つからないことで不安になる、などが予想されたため、子ども自身が保護者と一緒に運動会を楽しめるよう、コロナ禍の時と同じように時間をずらして学年別を実施しました。子どもたちも普段と同じように安心して活動でき、保護者からも子どもの様子や表情をよく見ることができて良かった等の感想をいただきました。発表会は、子どもたちも保護者と一緒に表現活動を楽しめるように『わくわくデー』と名前を変え、言葉のやりとりや製作物を手渡す場面、歌や合奏などを一緒に行い、学年別での発表プラス保護者参加型の会としました。年度最後のクラス懇談会は、子育てに限らず様々なテーマで保護者の方がお話できるように、『Tea&Talk』としてお茶を飲みながら和気あいあいとした雰囲気の中で行い、参加された方々からも好評でした。以前の方法にとらわれず、保育・教育目標と同様に行事も『子ども主体』の取り組みを行っていききたいと思います。



School Sketch

学園スケッチ【植草こう先生の像】



植草学園の弁天キャンパスと小倉キャンパスには、それぞれ前理事長植草こう先生の銅像が建っています。弁天キャンパスは立像で、93年間の歴史をもつ植草文化服装専門学校が幕を閉じることを機に平成8年に建てられました。小倉キャンパスは胸像で、学園の創立100周年記念事業の一つとして建てられたものです。作者は、千葉大学教育学部の教授であった上野弘道先生です。上野先生は日展の評議員も務めた彫刻家で、九十九里伊能忠敬公園の伊能忠敬像などを製作しています。また、小倉キャンパス胸像の台座に掘られた「植草こう先生」の文字は、西山南撓先生によるものです。西山先生は、今井凌雪先生に師事し日展入選8回の功績があり、千葉市美術協会の理事をされています。お二人とも植草こう先生と生前深交のあった方々です。

植草こう先生は戦中戦後の混乱を乗り越えて、今日の植草学園発展の基礎を築きました。学園の両キャンパスでやさしく微笑む像からは、困難なことを克服するためのエールが送られているように思えます。「成せばなる成さねばならぬ何事も 成らぬは人の成さぬなりけり」植草こう先生が好きだった言葉です。

学園長 植草 和典

植草学園 教育研究振興資金寄付者名簿

(2023年9月1日～2024年2月29日)

個人

1 園田さやか	5 桑名俊一	8 名古屋恒彦	11 田中正雄
2 鴛田華織	6 近藤治美	9 金子明宏	12 西村佳子
3 浅山和	7 鈴木保久	10 小池公夫	13 堀彰人
4 植草和典			

業者

1 千葉興業銀行 千葉駅前支店	2 株式会社北原防災
-----------------	------------

その他

1 植草学園さくら会
2 植草学園大学 後援会
3 植草学園短期大学 後援会
4 植草学園大学 発達教育学部 R5年度卒業生一同
5 植草学園大学 保健医療学部 R5年度卒業生一同

個人…13件 業者…2件 その他…5件 **合計 20件**

編集後記

植草学園短期大学
こども未来学科

園川 緑 教授

今回は、2025年度春に開設予定の「看護学部」を特集しました。新たに看護学部が開設され、学園での学びの分野がさらに広がります。短大は2024年度末、26年の歴史に幕を閉じることとなりますが、今回の授業紹介にご登場いただいた佐藤先生の授業内容は、たくさん学生や卒業生の心に宝物のように宿っていることを感じています。植草学園のカラーは、専門学校・短大・大学の卒業生とともに永遠に続いていくことと思います。

14 U-heart



U-heart

Vol.32 May 2024

U-heart 編集委員会

編集委員長 足立 英彦
副委員長 園川 緑
編集委員 畑山未央 大塚 栄子 石渡正浩
窪谷 珠江 木村仁美 小林 鶴枝
安藤靖幸 進藤和美

学園ほっとNEWS

01

2024年3月 作業療法学専攻1期生 初の卒業証書・学位記授与式

2024年3月18日、TKP 東京ベイ幕張ホールにおいて第13回植草学園大学の卒業証書学位記授与式を執り行いました。2020年に開設された作業療法学専攻では、1期生21名に卒業証書学位記が授与されました。1期生はコロナ禍の2020年に入学式のないまま入学し、1年生の授業はほぼ全てオンライン授業、対面授業が開始されても上級生のいないなかで試行錯誤の連続だったと思います。しかし、作業療法士としての知識と技能を4年間しっかり学び、医療・保健・福祉の現場へと巣立って行きました。少子高齢化、多様性、AIテクノロジーの進化など、社会情勢が急速に変化しても、学び続け、成長し続ける作業療法士としてインクルーシブ社会の実現に貢献することを信じています。



令和6年3月卒業生国家試験合格実績

理学療法学専攻 **97.6%** 作業療法学専攻 **90.5%**

02

**ダブル快挙！
「植草共生の森（ビオトープ）」が
環境省「自然共生サイト」に認定と
都市緑化機構「緑の都市賞」に入選**



植草学園大学と植草学園短期大学は、社会貢献活動を重視し、地域社会との共生を目指しています。主に小倉キャンパス内の「植草共生の森（ビオトープ）」を中心に、田植えや稲刈り、ホタル観賞会、ビオトープ祭りなど、学生や地域住民が参加する多様なイベントを開催しています。この取り組みにより、環境省から「自然共生サイト」に認定され、さらに都市緑化機構「緑の都市賞」を受賞するなど、「共生社会実現」への姿勢が高く評価されました。今後も、将来を担う豊かな人材育成と恵まれた自然環境を生かした種々の活動により、植草学園は社会貢献を果たし、お子様からシニア世代まで、広く地域みなさんに還元してまいります。

U-heart 13

#Information

オープンキャンパスを開催しています！

11/9(土)・11/10(日)
【個別相談会、学祭同時開催】



6/23(日)

7/13(土)

7/28(日)

8/11(日)

8/23(金)

8/28(水)【オンライン】

9/15(日)

9/28(土)

12/21(土)

3/20(祝・木)

※詳細・お申し込みはHPよりご確認ください。



#SNS Check!!

【LINE】



【Instagram】



【X】



【YouTube】

